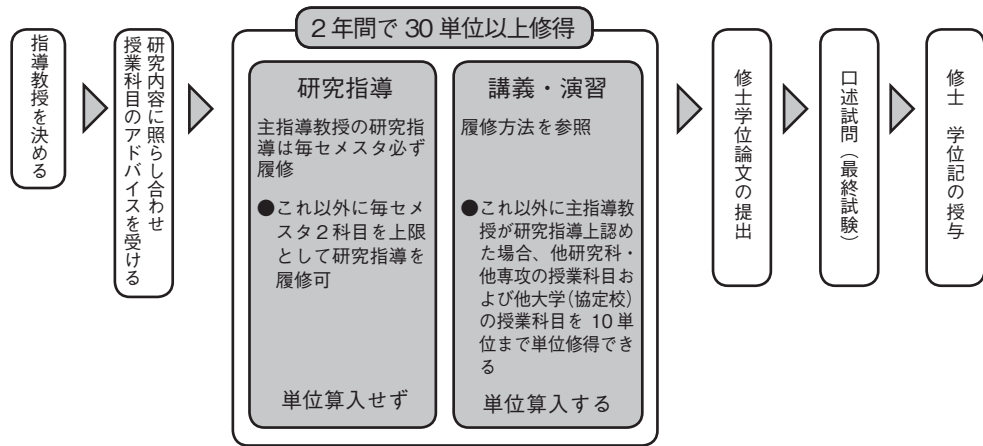


[経営学研究科]

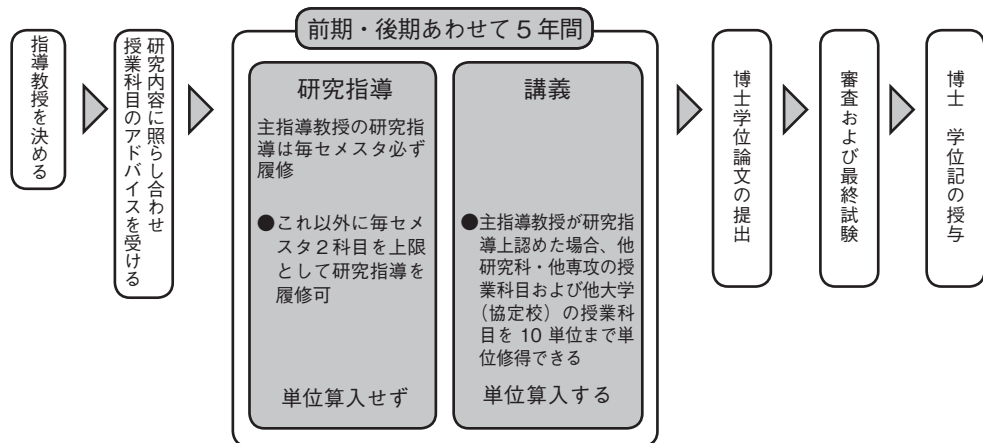
経営学専攻

前期課程 履修の流れ



経営学

後期課程 履修の流れ



※経営学研究科に於いて、修了は、論文内容と口述試験の結果を加味し、専攻内で検討した結果を研究科長がとりまとめるうえ、研究科委員会で協議し、決定する。

経営学専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	春	秋	単位	職名	担当教員	備考
経営学特論A	講義	○		2	教授	西澤昭夫	
経営学特論B	講義	○		2	教授	西澤昭夫	
経営学演習A	演習	○		2	教授	西澤昭夫	経営学研究指導Aと共通
経営学演習B	演習		○	2	教授	西澤昭夫	経営学研究指導Bと共通
経営史特論A	講義			2			本年度休講
経営史特論B	講義			2			本年度休講
経営史演習A	演習			2			本年度休講
経営史演習B	演習			2			本年度休講
経営管理特論A	講義	○		2	非常勤講師	松本芳男	
経営管理特論B	講義		○	2	非常勤講師	松本芳男	
経営管理演習A	演習			2			本年度休講
経営管理演習B	演習			2			本年度休講
経営組織特論A	講義			2			本年度休講
経営組織特論B	講義			2			本年度休講
経営組織演習A	演習			2			本年度休講
経営組織演習B	演習			2			本年度休講
企業論特論A①	講義			2			本年度休講
企業論特論B①	講義			2			本年度休講
企業論特論A②	講義	○		2	教授	石井晴夫	
企業論特論B②	講義		○	2	教授	石井晴夫	
企業論演習A①	演習	○		2	教授	柿崎洋一	企業論研究指導A①と共通
企業論演習B①	演習		○	2	教授	柿崎洋一	企業論研究指導B①と共通
企業論演習A②	演習	○		2	教授	石井晴夫	企業論研究指導A②と共通
企業論演習B②	演習		○	2	教授	石井晴夫	企業論研究指導B②と共通
経営労務特論A	講義	○		2	非常勤講師	平賀富一	
経営労務特論B	講義		○	2	非常勤講師	平賀富一	
経営労務演習A	演習			2			本年度休講
経営労務演習B	演習			2			本年度休講
経営財務特論A	講義			2			本年度休講
経営財務特論B	講義			2			本年度休講
経営財務演習A	演習			2			本年度休講
経営財務演習B	演習			2			本年度休講
国際経営論特論A	講義	○		2	教授	劉永鵬	
国際経営論特論B	講義		○	2	教授	劉永鵬	
国際経営論演習A	演習	○		2	教授	劉永鵬	国際経営論研究指導Aと共通
国際経営論演習B	演習		○	2	教授	劉永鵬	国際経営論研究指導Bと共通
情報管理特論A	講義			2			本年度休講
情報管理特論B	講義			2			本年度休講
情報管理演習A	演習			2			本年度休講
情報管理演習B	演習			2			本年度休講
システム論特論A	講義	○		2	教授	旭貴朗	
システム論特論B	講義		○	2	教授	旭貴朗	
経営システム論特論A	講義	○		2	教授	今泉淳	
経営システム論特論B	講義		○	2	教授	今泉淳	
システム論演習A	演習	○		2	教授	旭貴朗	システム論研究指導Aと共通
システム論演習B	演習		○	2	教授	旭貴朗	システム論研究指導Bと共通
経営システム論演習A	演習	○		2	教授	今泉淳	経営システム論研究指導Aと共通
経営システム論演習B	演習		○	2	教授	今泉淳	経営システム論研究指導Bと共通
非営利組織経営論特論A	講義	○		2	教授	大坪宏至	
非営利組織経営論特論B	講義		○	2	教授	大坪宏至	

経営学

授業科目・研究指導	講義・演習の別	春	秋	単位	職名	担当教員	備考
非営利組織経営論演習A	演習	○		2	教授	大坪宏至	非営利組織経営論研究指導Aと共通
非営利組織経営論演習B	演習		○	2	教授	大坪宏至	非営利組織経営論研究指導Bと共通
国際金融特論A	講義			2			本年度休講
国際金融特論B	講義			2			本年度休講
国際金融特論A②	講義			2			本年度休講
国際金融特論B②	講義			2			本年度休講
国際金融演習A	演習			2			本年度休講
国際金融演習B	演習			2			本年度休講
商業史特論A	講義			2			本年度休講
商業史特論B	講義			2			本年度休講
商業史演習A	演習			2			本年度休講
商業史演習B	演習			2			本年度休講
証券論特論A	講義	○		2	教授	董晶輝	
証券論特論B	講義		○	2	教授	董晶輝	
証券論演習A	演習	○		2	教授	董晶輝	証券論研究指導Aと共通
証券論演習B	演習		○	2	教授	董晶輝	証券論研究指導Bと共通
財務会計論特論A①	講義	○		2	教授(兼担)	茅根聡	
財務会計論特論B①	講義		○	2	教授(兼担)	茅根聡	
財務会計論特論A②	講義			2			本年度休講
財務会計論特論B②	講義			2			本年度休講
財務会計論演習A	演習			2			本年度休講
財務会計論演習B	演習			2			本年度休講
管理会計論特論A	講義			2			本年度休講
管理会計論特論B	講義			2			本年度休講
管理会計論演習A	演習			2			本年度休講
管理会計論演習B	演習			2			本年度休講
監査論特論A	講義	○		2	教授(兼担)	石井薫	
監査論特論B	講義		○	2	教授(兼担)	石井薫	
監査論演習A	演習			2			本年度休講
監査論演習B	演習			2			本年度休講
税務会計論特論A	講義	○		2	教授(兼担)	杉山晶子	
税務会計論特論B	講義		○	2	教授(兼担)	杉山晶子	
税務会計論演習A	演習			2			本年度休講
税務会計論演習B	演習			2			本年度休講
原価計算論特論A	講義	○		2	非常勤講師(兼担)	尾畑裕	
原価計算論特論B	講義		○	2	非常勤講師(兼担)	尾畑裕	
原価計算論演習A	演習			2			本年度休講
原価計算論演習B	演習			2			本年度休講
経営学研究指導A		○			教授	西澤昭夫	
経営学研究指導B			○		教授	西澤昭夫	
経営史研究指導A							本年度休講
経営史研究指導B							本年度休講
経営管理研究指導A							本年度休講
経営管理研究指導B							本年度休講
経営組織研究指導A							本年度休講
経営組織研究指導B							本年度休講
企業論研究指導A①		○			教授	柿崎洋一	
企業論研究指導B①			○		教授	柿崎洋一	
企業論研究指導A②		○			教授	石井晴夫	
企業論研究指導B②			○		教授	石井晴夫	
経営労務研究指導A							本年度休講
経営労務研究指導B							本年度休講

授業科目・研究指導	講義・演習の別	春	秋	単位	職名	担当教員	備考
経営財務研究指導 A							本年度休講
経営財務研究指導 B							本年度休講
国際経営論研究指導 A		○			教授	劉 永 鶴	
国際経営論研究指導 B			○		教授	劉 永 鶴	
情報管理研究指導 A							本年度休講
情報管理研究指導 B							本年度休講
国際金融研究指導 A							本年度休講
国際金融研究指導 B							本年度休講
商業史研究指導 A							本年度休講
商業史研究指導 B							本年度休講
証券論研究指導 A		○			教授	董 晶 輝	
証券論研究指導 B			○		教授	董 晶 輝	
財務会計論研究指導 A							本年度休講
財務会計論研究指導 B							本年度休講
管理会計論研究指導 A							本年度休講
管理会計論研究指導 B							本年度休講
監査論研究指導 A							本年度休講
監査論研究指導 B							本年度休講
税務会計論研究指導 A							本年度休講
税務会計論研究指導 B							本年度休講
原価計算論研究指導 A							本年度休講
原価計算論研究指導 B							本年度休講
システム論研究指導 A		○			教授	旭 貴 朗	
システム論研究指導 B			○		教授	旭 貴 朗	
経営システム論研究指導 A		○			教授	今 泉 淳	
経営システム論研究指導 B			○		教授	今 泉 淳	
非営利組織経営論研究指導 A		○			教授	大 坪 宏 至	
非営利組織経営論研究指導 B			○		教授	大 坪 宏 至	

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された演習において行う）。
- 主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、在学中2回（8単位）まで履修し、単位修得しなければならない（「研究指導」と共通して開講されているもので、2科目（A＜春学期開講＞・B＜秋学期開講＞）のみが対象となる）。3回目以降（原級した場合等）は履修・単位修得することはできるが、修了要件としては扱わない。
- 上記4.以外の「演習」または「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得（2単位）することができる（よって、同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない）。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 本研究科以外の学生は、「研究指導」と共通で開講されている「演習」を履修することはできない。
- 修士論文の作成については pp.135～137を参照すること。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	春	秋	単位	職名	担当教員	備考
経営学特殊研究A	講義	○		2	教授	西澤昭夫	経営学研究指導Aと共通
経営学特殊研究B	講義		○	2			経営学研究指導Bと共通
経営組織論特殊研究A	講義	○		2	教授	柿崎洋一	経営組織論研究指導Aと共通
経営組織論特殊研究B	講義		○	2			経営組織論研究指導Bと共通
経営史特殊研究A	講義			2			本年度休講
経営史特殊研究B	講義			2			
経営管理論特殊研究A	講義	○		2	教授(兼担)	井上善海	経営管理論研究指導Aと共通
経営管理論特殊研究B	講義		○	2			経営管理論研究指導Bと共通
経営財務論特殊研究A	講義			2			本年度休講
経営財務論特殊研究B	講義			2			
意思決定システム論特殊研究A	講義	○		2	教授	旭貴朗	意思決定システム論研究指導Aと共通
意思決定システム論特殊研究B	講義		○	2			意思決定システム論研究指導Bと共通
経営システム論特殊研究A	講義	○		2	教授	今泉淳	
経営システム論特殊研究B	講義		○	2			
企業論特殊研究A	講義	○		2	教授	石井晴夫	企業論研究指導Aと共通
企業論特殊研究B	講義		○	2			企業論研究指導Bと共通
国際経営論特殊研究A	講義	○		2	教授	劉永鶴	国際経営論研究指導Aと共通
国際経営論特殊研究B	講義		○	2			国際経営論研究指導Bと共通
非営利組織経営論特殊研究A	講義	○		2	教授	大坪宏至	非営利組織経営論研究指導Aと共通
非営利組織経営論特殊研究B	講義		○	2			非営利組織経営論研究指導Bと共通
税務会計論特殊研究A	講義			2	教授(兼担)	杉山晶子	
税務会計論特殊研究B	講義			2			
財務会計論特殊研究A	講義			2			本年度休講
財務会計論特殊研究B	講義			2			
監査論特殊研究A	講義	○		2	教授(兼担)	石井薫	監査論研究指導Aと共通
監査論特殊研究B	講義		○	2			監査論研究指導Bと共通
商業史特殊研究A	講義			2			本年度休講
商業史特殊研究B	講義			2			
証券論特殊研究A	講義	○		2	教授	董晶輝	証券論特殊研究指導Aと共通
証券論特殊研究B	講義		○	2			証券論特殊研究指導Bと共通
マーケティング論特殊研究A	講義			2			本年度休講
マーケティング論特殊研究B	講義			2			
経営学研究指導A		○			教授	西澤昭夫	
経営学研究指導B			○				
経営組織論研究指導A		○			教授	柿崎洋一	
経営組織論研究指導B			○				
経営史研究指導A							本年度休講
経営史研究指導B							
経営管理論研究指導A		○			教授(兼担)	井上善海	2014年度以前入学生のみ履修可
経営管理論研究指導B			○				
経営財務論研究指導A							本年度休講
経営財務論研究指導B							
意思決定システム論研究指導A		○			教授	旭貴朗	
意思決定システム論研究指導B			○				
企業論研究指導A		○			教授	石井晴夫	
企業論研究指導B			○				
国際経営論研究指導A		○			教授	劉永鶴	
国際経営論研究指導B			○				
非営利組織経営論研究指導A		○			教授	大坪宏至	
非営利組織経営論研究指導B			○				
税務会計論研究指導A							本年度休講
税務会計論研究指導B							

経営学

授業科目・研究指導	講義・演習の別	春	秋	単位	職 名	担当教員	備 考
財務会計論研究指導 A							本年度休講
財務会計論研究指導 B							
監査論研究指導 A		○			教授(兼担)	石 井 薫	2010年度以前入学生のみ履修可
監査論研究指導 B			○				
商業史研究指導 A							本年度休講
商業史研究指導 B							
証券論研究指導 A		○			教 授	董 晶 輝	
証券論研究指導 B			○				
マーケティング論研究指導 A							本年度休講
マーケティング論研究指導 B							

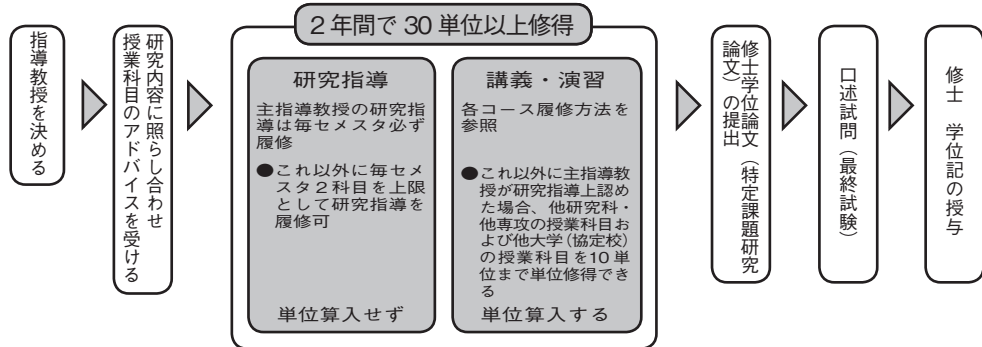
履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名になる場合がある。「研究指導」は、セメスタ（年度）毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ（年度）必ず履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。

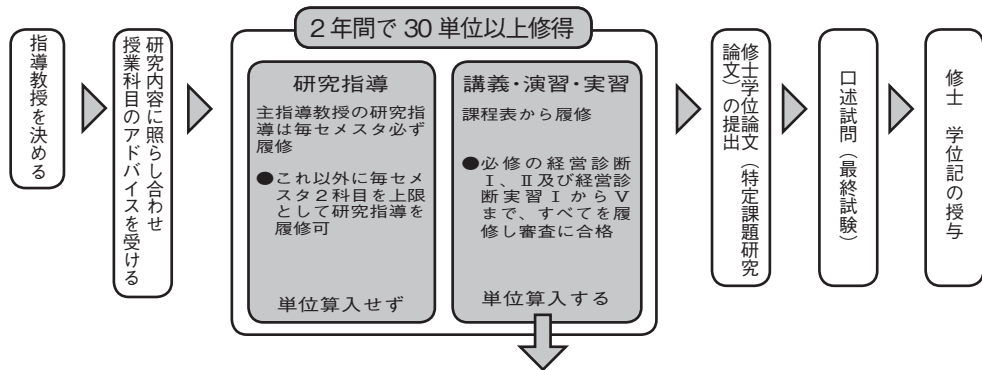
ビジネス・会計ファイナンス専攻

前期課程 履修の流れ

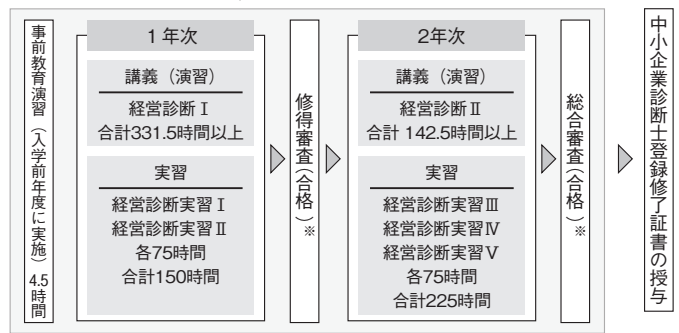
[企業家・経営幹部養成コース] [会計ファイナンス専門家養成コース]



[中小企業診断士登録養成コース]

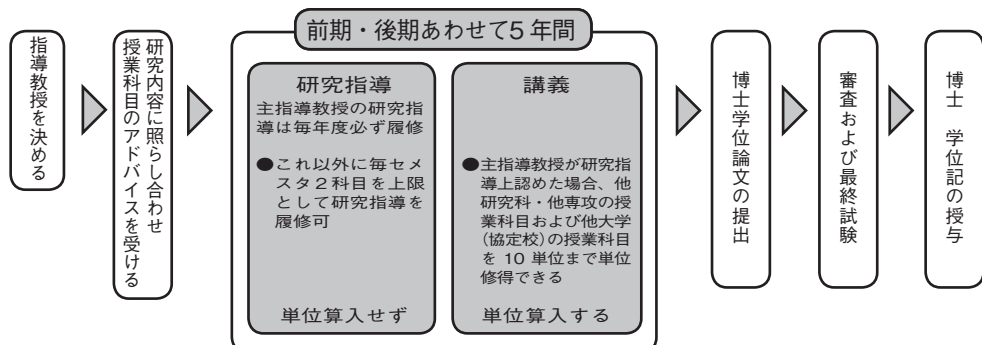


ビジネス・
会計ファイ
ナンス



※経営診断Iの修得審査において修得水準に達しなかった者、または総合審査において総合審査基準を満たしていないと診断された者は、その審査結果が出た時点で本コースから離脱しなければならない。ただし、その場合でも経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻に継続して在籍し、修士(経営学)の学位を得ようとする事は可能。

後期課程 履修の流れ



※経営学研究科に於いて、修了は、論文内容と口述試験の結果を加味し、専攻内で検討した結果を研究科長がとりまとめるうえ、研究科委員会で協議し、決定する。

ビジネス・会計ファイナンス専攻

博士前期課程〔企業家・経営幹部養成コース〕

	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	開講学期		職名	担当教員	備考
				春	秋			
経営専門科目	経営哲学	講義	2	○		教授(兼担)	西澤 昭夫	
	コーポレートガバナンス論	講義	2	○		非常勤講師	佐久間 信夫	
	企業倫理	講義	2		○	非常勤講師	佐久間 信夫	
	I R 論	講義	2					本年度休講
	グループ経営論	講義	2		○	非常勤講師	吉村 孝司	
	グループ戦略論	講義	2					本年度休講
	経営システム論	講義	2		○	教授(兼担)	今泉 淳	
	企業理念論	講義	2					本年度休講
	企業文化論	講義	2	○		非常勤講師	大平 浩二	
	中小企業経営論	講義	2	○		教授	小寫 正稔	
	ビジネスプラン I	講義	2		○	教授	小寫 正稔	
	国際スモールビジネス論	講義	2					本年度休講
	人的資源管理論	講義	2	○		教授	幸田 浩文	
	人的資源開発論	講義	2		○	教授	幸田 浩文	
	経営戦略論	講義	2		○	教授	井上 善海	
	経営環境論	講義	2					本年度休講
	執行役員制度論	講義	2					本年度休講
	社外取締役論	講義	2					本年度休講
	ベンチャーキャピタル論	講義	2					本年度休講
	企業家論(アントレプレヌール論)	講義	2	○		非常勤講師	吉村 孝司	
	N P O 論	講義	2					本年度休講
	病院経営論	講義	2					本年度休講
	公益事業経営論	講義	2		○	非常勤講師	内山 隆	
	企業社会貢献論	講義	2					本年度休講
	テクノロジー評価論	講義	2					本年度休講
	研究開発論	講義	2					本年度休講
I T 論	講義	2					本年度休講	
情報システム論	講義	2					本年度休講	
経営戦略演習	演習	2		○	教授	小寫 正稔	集中講義	
共通科目	経営学 I	講義	2	○		非常勤講師	内山 隆	
	経営学 II	講義	2		○	非常勤講師	大平 浩二	
	環境マネジメント論	講義	2	○		教授	石井 薫	(隔年開講)
	環境監査論	講義	2		○	教授	石井 薫	
	マーケティング戦略論	講義	2			教授(兼担)	菊池 宏之	(隔年開講)
	流通戦略論	講義	2					本年度休講(隔年開講)
	知的財産権	講義	2					本年度休講

ビジネス・
会計ファイ
ナンス

	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	開講学期		職 名	担当教員	備 考
				春	秋			
ビジネス演習・研究指導	ビジネス演習Ⅰ①②④	演 習	2	○	○	教 授	右記指導教員	1年生対象：幸田、小畠、井上から選択(ビジネス研究指導Ⅰ①②④と共通)
	ビジネス演習Ⅱ①②④	演 習	2	○	○	教 授	右記指導教員	2年生対象：幸田、小畠、井上から選択(ビジネス研究指導Ⅱ①②④と共通)
	ビジネス研究指導Ⅰ①②④			○	○	教 授	右記指導教員	1年生対象：幸田、小畠、井上から選択
	ビジネス研究指導Ⅱ①②④			○	○	教 授	右記指導教員	2年生対象：幸田、小畠、井上から選択

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に2科目〔主指導教授1名・副指導教授1名〕を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された演習において行う）。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 主指導教授は、「企業家・経営幹部養成コース」の研究指導担当教員から決定すること。
- 副指導教授は、「企業家・経営幹部養成コース」または「会計ファイナンス専門家養成コース」の、「演習」または「講義」科目担当教員から決定すること。
- 主指導教授および副指導教授が担当する、研究指導と共通して開講される「演習」は、在学中、16単位まで履修・単位修得することができ、12単位まで修了要件とすることができる。
主指導教授8単位まで、副指導教授4単位まで修了要件となる。
1セメスタに履修・単位修得することができる、研究指導と共通して開講される「演習」は、主指導教授2単位、副指導教授2単位までである。
- 主および副指導教授が担当する「講義」は、同一科目を2回以上履修・単位修得することができるが、修了単位となるのは最初に履修・単位修得した1回分のみである。
- 上記6. 7. 以外の「演習」または「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得（2単位）することができる（よって、同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない）。
- 〔経営専門科目〕から4単位以上履修・単位修得すること。
- 修了要件必要単位数30単位のうち、20単位以上は本コースまたは「会計ファイナンス専門家養成コース」から履修・単位修得すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 本研究科以外の学生は、「研究指導」と共通で開講されている「演習」を履修することはできない。
- 修士論文・特定課題研究論文の作成については pp. 135～137を参照すること。

博士前期課程〔会計ファイナンス専門家養成コース〕

	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	開講学期		職 名	担当教員	備 考
				春	秋			
会計専門科目	基礎財務会計論	講義	2	○		教授	茅根 聡	
	上級財務会計論	講義	2		○	教授	茅根 聡	
	基礎簿記論	講義	2		○	准教授	増子 敦仁	(隔年開講)
	上級簿記論	講義	2					本年度休講(隔年開講)
	基礎原価計算論	講義	2	○		非常勤講師	尾畑 裕	
	上級原価計算論	講義	2		○	非常勤講師	尾畑 裕	
	基礎管理会計論	講義	2	○		教授(兼任)	大坪 宏至	
	上級管理会計論	講義	2		○	教授(兼任)	大坪 宏至	
	基礎監査論	講義	2		○	教授	鳥飼 裕一	
	上級監査論	講義	2	○		教授	鳥飼 裕一	
	基礎税務会計論	講義	2	○		教授	杉山 晶子	
	上級税務会計論	講義	2		○	教授	杉山 晶子	
	企業法Ⅰ	講義	2					本年度休講
	企業法Ⅱ	講義	2					本年度休講
	租税法Ⅰ	講義	2	○		教授	依田 俊伸	
	租税法Ⅱ	講義	2		○	教授	依田 俊伸	
	会計実践演習Ⅰ	演習	2	○		非常勤講師	竹内 進	
	会計実践演習Ⅱ	演習	2		○	非常勤講師	竹内 進	
	会計実践演習Ⅲ	演習	2					本年度休講
	会計実践演習Ⅳ	演習	2					本年度休講
ファイナンス専門科目	基礎コーポレート・ファイナンス論	講義	2					本年度休講
	上級コーポレート・ファイナンス論	講義	2					本年度休講
	基礎ファイナンス論	講義	2	○		准教授	里吉 清隆	
	上級ファイナンス論	講義	2		○	准教授	里吉 清隆	
	基礎財務分析論	講義	2	○		非常勤講師	中島 朋子	
	上級財務分析論	講義	2		○	非常勤講師	中島 朋子	
	金融論	講義	2	○		教授	宮村 健一郎	
	金融システム論	講義	2		○	教授	宮村 健一郎	
	M & A 論	講義	2					本年度休講
	バイアウト論	講義	2					本年度休講
	資本調達論	講義	2	○		非常勤講師	坂口 幸雄	
	資本コスト論	講義	2		○	非常勤講師	坂口 幸雄	
	投資決定論	講義	2		○	非常勤講師	太田 三郎	
	リスクマネジメント論	講義	2		○	非常勤講師	太田 三郎	
デリバティブ論	講義	2		○	教授(兼任)	董 晶輝		
共通科目	経営学Ⅰ	講義	2	○		非常勤講師	内山 隆	
	経営学Ⅱ	講義	2		○	非常勤講師	大平 浩二	
	環境マネジメント論	講義	2	○		教授	石井 薫	(隔年開講)
	環境監査論	講義	2		○	教授	石井 薫	
	マーケティング戦略論	講義	2	○		教授(兼任)	菊池 宏之	(隔年開講)
	流通戦略論	講義	2					本年度休講(隔年開講)
	知的財産権	講義	2					本年度休講

ビジネス・会計ファイナンス

	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	開講学期		職 名	担当教員	備 考	
				春	秋				
会計ファイナンス演習・研究指導	会計ファイナンス演習Ⅰ	演習	2	○		教授	茅根 聡	会計ファイナンス研究指導Ⅰと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅱ	演習	2		○	教授	茅根 聡	会計ファイナンス研究指導Ⅱと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅲ	演習	2	○		教授	鳥飼 裕一	会計ファイナンス研究指導Ⅲと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅳ	演習	2		○	教授	鳥飼 裕一	会計ファイナンス研究指導Ⅳと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅴ	演習	2	○		教授	石井 薫	会計ファイナンス研究指導Ⅴと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅵ	演習	2		○	教授	石井 薫	会計ファイナンス研究指導Ⅵと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅶ	演習	2	○		教授(兼担)	大坪 宏至	会計ファイナンス研究指導Ⅶと共通※	
	会計ファイナンス演習Ⅷ	演習	2		○	教授(兼担)	大坪 宏至	会計ファイナンス研究指導Ⅷと共通※	
	会計ファイナンス演習Ⅸ	演習	2	○		教授	宮村 健一郎	会計ファイナンス研究指導Ⅸと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅹ	演習	2		○	教授	宮村 健一郎	会計ファイナンス研究指導Ⅹと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅺ	演習	2	○		教授	杉山 晶子	会計ファイナンス研究指導Ⅺと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅻ	演習	2		○	教授	杉山 晶子	会計ファイナンス研究指導Ⅻと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅼ	演習	2	○		教授	依田 俊伸	会計ファイナンス研究指導Ⅼと共通	
	会計ファイナンス演習Ⅽ	演習	2		○	教授	依田 俊伸	会計ファイナンス研究指導Ⅽと共通	
	会計ファイナンス研究指導Ⅰ				○		教授	茅根 聡	
	会計ファイナンス研究指導Ⅱ					○	教授	茅根 聡	
	会計ファイナンス研究指導Ⅲ				○		教授	鳥飼 裕一	
	会計ファイナンス研究指導Ⅳ					○	教授	鳥飼 裕一	
	会計ファイナンス研究指導Ⅴ				○		教授	石井 薫	
	会計ファイナンス研究指導Ⅵ					○	教授	石井 薫	
	会計ファイナンス研究指導Ⅶ				○		教授(兼担)	大坪 宏至	※
	会計ファイナンス研究指導Ⅷ					○	教授(兼担)	大坪 宏至	※
	会計ファイナンス研究指導Ⅸ				○		教授	宮村 健一郎	
	会計ファイナンス研究指導Ⅹ					○	教授	宮村 健一郎	
	会計ファイナンス研究指導Ⅺ				○		教授	杉山 晶子	
	会計ファイナンス研究指導Ⅻ					○	教授	杉山 晶子	
	会計ファイナンス研究指導Ⅼ				○		教授	依田 俊伸	
会計ファイナンス研究指導Ⅽ					○	教授	依田 俊伸		

※2014年度以前入学生のみ履修可

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に2科目〔主指導教授1名・副指導教授1名〕を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された演習において行う）
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 主指導教授は、「会計ファイナンス専門家養成コース」の研究指導担当教員から決定すること。
- 副指導教授は、「企業家・経営幹部養成コース」または「会計ファイナンス専門家養成コース」の、「演習」または「講義」科目担当教員から決定すること。
- 主指導教授および副指導教授が担当する、研究指導と共通して開講される「演習」は、在学中16単位まで履修・単位修得することができ、12単位まで修了要件とすることができる。
主指導教授8単位まで、副指導教授4単位まで修了要件となる。
1セメスタに履修・単位修得することができる、研究指導と共通して開講される「演習」は、主指導教授2単位、副指導教授2単位までである。
- 主および副指導教授が担当する「講義」は、同一科目を2回以上履修・単位修得することができるが、修了単位となるのは最初に履修・単位修得した1回分のみである。
- 上記6. 7. 以外の「演習」または「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得（2単位）することができる（よって、同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない）。
- 〔会計専門科目〕および〔ファイナンス専門科目〕からそれぞれ4単位以上、合計8単位以上履修・単位修得すること。
- 修了要件必要単位数30単位のうち、20単位以上は本コースまたは「企業家・幹部養成コース」から履修・単位修得すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 本研究科以外の学生は、「研究指導」と共通で開講されている「演習」を履修することはできない。
- 修士論文・特定課題研究論文の作成についてはPP. 135～137を参照すること。

博士前期課程 [中小企業診断士登録養成コース] ※詳細は教員より配付の別紙参照

	授業科目・研究指導	テーマ	講義・演習の別	単位	時間数	職名	担当教員	備考
中小企業診断士登録養成コース科目 経営診断Ⅰ（1年次配当）	事前教育演習	調査・研究手法		-	※45	教授	井上善海	
	経営戦略論	経営戦略形成	演習	2	24	教授 非常勤講師	井上善海 佐藤剛	
	経営戦略演習	経営計画策定	演習	1	12	教授	小寫正稔	
	マーケティング戦略論	マーケティング戦略(製造業)	演習	2	12	教授	小寫正稔	
		製品開発戦略	演習		6	教授	小寫正稔	
		ロジスティックス	演習		6	非常勤講師	白井秀彰	
	流通戦略論	マーケティング戦略(流通業)	演習	2	18	教授(兼担)	菊池宏之	
		店舗施設マネジメント	演習		12	非常勤講師	久場清弘	
	人的資源管理論	組織診断	演習	2	12	特任教授	木下潔	
		人材マネジメント	演習		12	教授	幸田浩文	
	基礎財務分析論	基礎財務分析	演習	2	18	非常勤講師 非常勤講師	福島正人 井上真伯	
		計数マネジメント	演習		12	教授 教授	小寫正稔 井上善海	
	生産マネジメント	製造業現場体験	演習	2	12	教授 非常勤講師	小寫正稔 古澤智	
		工場診断	演習		6	教授 非常勤講師	小寫正稔 堀安吉	
		生産マネジメント体系	演習		18	非常勤講師	渡辺英男	
	生産戦略	生産戦略基本	演習	1	6	非常勤講師	久野威	
		製造・生産管理システム	演習		12	非常勤講師	田島悟	
	情報システム論	情報化支援(流通業)	演習	2	12	非常勤講師	小野史人	
		情報化支援(製造業)	演習		18	准教授 非常勤講師	松村良平 酒井勇貴	
	中小企業現代課題Ⅰ	コンサルタント思考法	演習	2	12	特任教授	木下潔	
		コミュニケーションスキル	演習		12	特任教授 非常勤講師	木下潔 山根義信	
		コンサルティングプロセス	演習		12	特任教授 非常勤講師	木下潔 大仲均	
	中小企業経営論	中小企業経営論	講義	2	22.5	教授	小寫正稔	
	ビジネス演習Ⅰ	ビジネス演習	演習	4	45	教授	幸田、小寫、井上から選択	
	ビジネス研究指導	ビジネス研究指導	演習	-	(45)	教授	幸田、小寫、井上から選択	
	経営診断実習Ⅰ	製造業経営診断実習①	実習	-	75	非常勤講師	岸嘉男	指導支援者 教授 小寫正稔 特任教授 木下潔 非常勤講師 瀬戸正人 廣瀬一郎
製造業経営診断実習②		実習	非常勤講師			渡辺英男		
経営診断実習Ⅱ	流通業経営診断実習①	実習	-	75	非常勤講師	藤田雅三	指導支援者 教授 小寫正稔 特任教授 木下潔 非常勤講師 瀬戸正人 廣瀬一郎	
	流通業経営診断実習②	実習			非常勤講師	小野史人		
経営診断Ⅰ 単位 演習時間計				24	481.5	※事前教育演習分の4.5時間は除く。		

ビジネス・
会計ファイ
ナンス

授業科目・研究指導	テーマ	講義・演習の別	単位	時間数	職名	担当教員	備考
中小企業診断士登録養成コース科目 経営診断Ⅱ（2年次配当）	経営学Ⅱ	総合経営演習	2	12	非常勤講師	藤田隆久	指導支援者 教授 小 小 小 正 正 正 稔 稔 稔 木 木 木 下 下 下 潔 潔 潔 瀬 瀬 瀬 戸 戸 戸 正 正 正 人 人 人 廣 廣 廣 瀬 瀬 瀬 一 一 一 郎 郎 郎
		流通業総合演習		12	非常勤講師	岩岡博徳	
		製造業総合演習		12	非常勤講師	古澤智	
	ビジネスプランⅡ	創業・ベンチャー支援演習	1	6	非常勤講師	小島慎一	
		創業・ベンチャー助言演習		15	非常勤講師 非常勤講師	後閑和子 五十嵐 暁美	
	中小企業現代課題Ⅱ	経営革新支援演習	2	7.5	教授	小 小 寫 寫 正 正 稔 稔	
		経営革新助言演習		12	非常勤講師	鴨志田 栄子	
		コーディネーション演習		3	非常勤講師	藤 藤 間 間 輝 輝 雄 雄	
	中小企業現代課題Ⅲ	中小企業の企業再生演習	1	6	非常勤講師	小 小 國 國 義 義 之 之	
		中小企業支援施策講義		3	教授(兼担)	安 安 田 田 武 武 彦 彦	
		企業連携演習		4.5	教授(兼担)	西 西 澤 澤 昭 昭 夫 夫	
		中小企業の国際化演習		4.5	教授 非常勤講師 非常勤講師	小 小 寫 寫 正 正 稔 稔 越 越 純 純 一 一 郎 郎 北 北 澤 澤 治 治 郎 郎	
	ビジネス演習Ⅱ	ビジネス演習	4	45	教授	幸 幸 田 田 小 小 寫 寫 井 井 上 上 か か ら ら 選 選 択 択	
	ビジネス研究指導	ビジネス研究指導	-	(45)	教授	幸 幸 田 田 小 小 寫 寫 井 井 上 上 か か ら ら 選 選 択 択	
	経営診断実習Ⅲ	経営戦略・戦略計画策定実習Ⅰ①	実習	-	75	非常勤講師	
経営戦略・戦略計画策定実習Ⅰ②		非常勤講師				古 古 澤 澤 智 智	
経営診断実習Ⅳ	経営戦略・戦略計画策定実習Ⅱ①	実習	-	75	特任教授	木 木 下 下 潔 潔	
	経営戦略・戦略計画策定実習Ⅱ②				非常勤講師	福 福 島 島 正 正 人 人	
経営診断実習Ⅴ	経営総合ソリューション実習①	実習	-	75	非常勤講師	熊 熊 谷 谷 学 学	
	経営総合ソリューション実習②				非常勤講師	岩 岩 岡 岡 博 博 徳 徳	
経営診断Ⅱ 単位 演習時間計			10	367.5			

履修方法

1. 経営診断Ⅰの授業科目・研究指導は、1年次に履修する。
2. 経営診断Ⅱの授業科目・研究指導は、2年次に履修する。
3. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
4. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に2科目〔主指導教授1名・副指導教授1名〕を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された演習において行う）。
5. 中小企業診断士登録養成コース科目は、必ず履修すること。
6. 修了要件として、修士学位論文または特定課題研究論文を作成し、最終試験（口述）に合格しなければならない。
7. ビジネス会計・ファイナンス専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に指導教員の許可と科目担当教員の許可を得ること。この単位は修了要件の単位に充当するが中小企業診断士登録のための単位（時間数）にはならない。
8. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。ただし、中小企業診断士登録のための単位（時間数）にはならない。
9. 修士論文・特定課題研究論文の作成については pp. 135～137を参照すること。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	春	秋	単位	職名	担当教員	備考
中小企業経営論特殊研究A	講義	○		2	教授	小 畠 正 稔	経営学研究指導ⅠAと共通
中小企業経営論特殊研究B	講義		○	2	教授	小 畠 正 稔	経営学研究指導ⅠBと共通
人的資源管理論特殊研究A	講義	○		2	教授	幸 田 浩 文	経営学研究指導ⅡAと共通
人的資源管理論特殊研究B	講義		○	2	教授	幸 田 浩 文	経営学研究指導ⅡBと共通
経営学特殊研究A	講義	○		2	教授(兼任)	西 澤 昭 夫	
経営学特殊研究B	講義		○	2	教授(兼任)	西 澤 昭 夫	
経営財務論特殊研究A	講義			2			本年度休講
経営財務論特殊研究B	講義			2			本年度休講
経営戦略論特殊研究A	講義	○		2	教授	井 上 善 海	経営学研究指導ⅢAと共通
経営戦略論特殊研究B	講義		○	2	教授	井 上 善 海	経営学研究指導ⅢBと共通
公益企業経営論特殊研究A	講義	○		2	教授(兼任)	石 井 晴 夫	経営学研究指導ⅤAと共通
公益企業経営論特殊研究B	講義		○	2	教授(兼任)	石 井 晴 夫	経営学研究指導ⅤBと共通
財務会計論特殊研究A	講義	○		2	教授	茅 根 聡	会計・ファイナンス論研究指導ⅠAと共通
財務会計論特殊研究B	講義		○	2	教授	茅 根 聡	会計・ファイナンス論研究指導ⅠBと共通
税務会計論特殊研究A	講義	○		2	教授	杉 山 晶 子	
税務会計論特殊研究B	講義		○	2	教授	杉 山 晶 子	
租税法特殊研究A	講義	○		2	教授	依 田 俊 伸	会計・ファイナンス論研究指導ⅥAと共通
租税法特殊研究B	講義		○	2	教授	依 田 俊 伸	会計・ファイナンス論研究指導ⅥBと共通
監査論特殊研究A①	講義	○		2	教授	石 井 薫	会計・ファイナンス論研究指導ⅢAと共通
監査論特殊研究B①	講義		○	2	教授	石 井 薫	会計・ファイナンス論研究指導ⅢBと共通
監査論特殊研究A②	講義	○		2	教授	鳥 飼 裕 一	会計・ファイナンス論研究指導ⅡAと共通
監査論特殊研究B②	講義		○	2	教授	鳥 飼 裕 一	会計・ファイナンス論研究指導ⅡBと共通
ファイナンス論特殊研究A	講義	○		2	准教授	里 吉 清 隆	
ファイナンス論特殊研究B	講義		○	2	准教授	里 吉 清 隆	
金融システム論特殊研究A	講義	○		2	教授	宮 村 健 一 郎	会計・ファイナンス論研究指導ⅣAと共通
金融システム論特殊研究B	講義		○	2	教授	宮 村 健 一 郎	会計・ファイナンス論研究指導ⅣBと共通
経営システム論特殊研究A	講義	○		2	教授(兼任)	今 泉 淳	
経営システム論特殊研究B	講義		○	2	教授(兼任)	今 泉 淳	
経営学研究指導ⅠA		○			教授	小 畠 正 稔	
経営学研究指導ⅠB			○		教授	小 畠 正 稔	
経営学研究指導ⅡA		○			教授	幸 田 浩 文	
経営学研究指導ⅡB			○		教授	幸 田 浩 文	
経営学研究指導ⅢA		○			教授	井 上 善 海	
経営学研究指導ⅢB			○		教授	井 上 善 海	
経営学研究指導ⅣA							本年度休講
経営学研究指導ⅣB							本年度休講
経営学研究指導ⅤA		○			教授(兼任)	石 井 晴 夫	2014年度以前入学生のみ履修可
経営学研究指導ⅤB			○		教授(兼任)	石 井 晴 夫	2014年度以前入学生のみ履修可
会計・ファイナンス論研究指導ⅠA		○			教授	茅 根 聡	
会計・ファイナンス論研究指導ⅠB			○		教授	茅 根 聡	
会計・ファイナンス論研究指導ⅡA		○			教授	鳥 飼 裕 一	
会計・ファイナンス論研究指導ⅡB			○		教授	鳥 飼 裕 一	
会計・ファイナンス論研究指導ⅢA		○			教授	石 井 薫	
会計・ファイナンス論研究指導ⅢB			○		教授	石 井 薫	
会計・ファイナンス論研究指導ⅣA		○			教授	宮 村 健 一 郎	
会計・ファイナンス論研究指導ⅣB			○		教授	宮 村 健 一 郎	
会計・ファイナンス論研究指導ⅤA		○			教授	依 田 俊 伸	
会計・ファイナンス論研究指導ⅤB			○		教授	依 田 俊 伸	

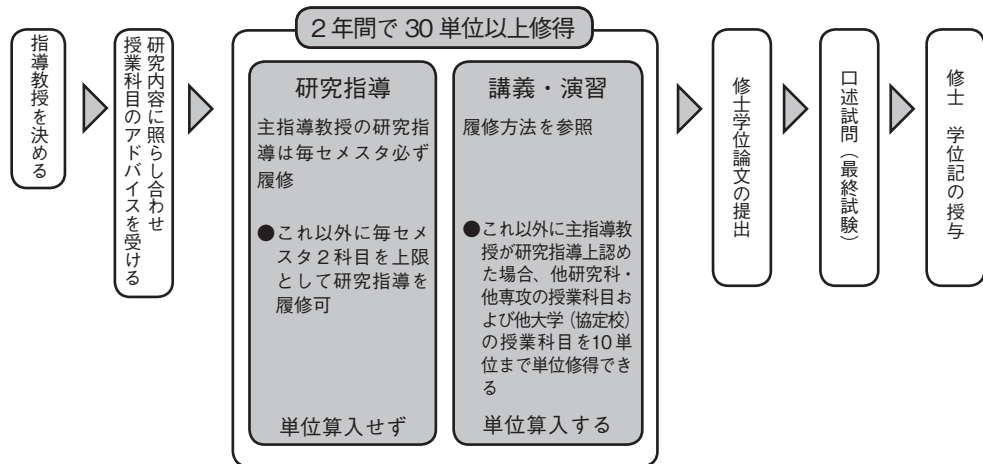
ビジネス・
会計ファイ
ナンス

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。

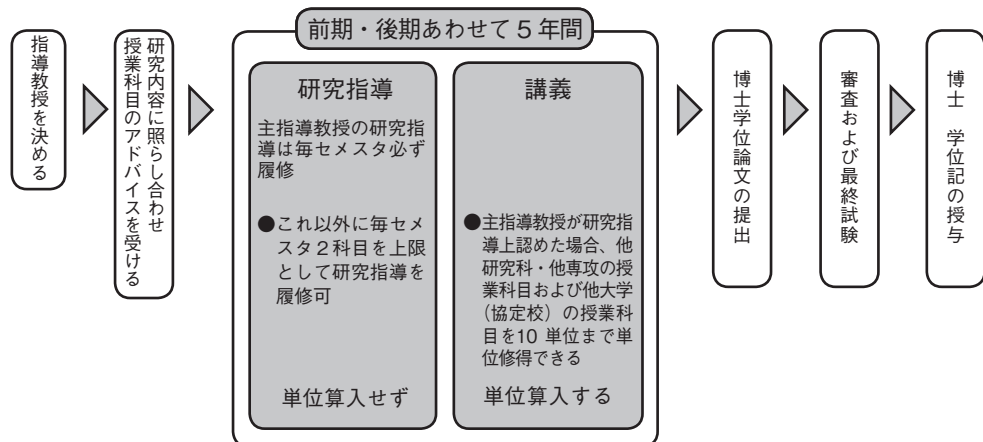
マーケティング専攻

前期課程 履修の流れ



マーケ
ティング

後期課程 履修の流れ



※経営学研究科に於いて、修了は、論文内容と口述試験の結果を加味し、専攻内で検討した結果を研究科長がとりまとめるうえ、研究科委員会で協議し、決定する。

マーケティング専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	春	秋	職名	担当教員	備考
マーケティング特論A	講義	2	○		教授	小川純生	
マーケティング特論B	講義	2		○	教授	小川純生	
流通特論A	講義	2	○		教授	住谷宏	
流通特論B	講義	2		○	教授	住谷宏	
広告特論A	講義	2					本年度休講
広告特論B	講義	2					本年度休講
ブランド戦略特論A	講義	2	○		教授	塚田朋子	
ブランド戦略特論B	講義	2		○	教授	塚田朋子	
サービス・マーケティング特論A	講義	2					本年度休講
サービス・マーケティング特論B	講義	2					本年度休講
マーケティング戦略特論A	講義	2	○		准教授	長島直樹	
マーケティング戦略特論B	講義	2		○	准教授	長島直樹	
マーケティング・リサーチ特論A	講義	2	○		教授	峰尾美也子	
マーケティング・リサーチ特論B	講義	2		○	教授	峰尾美也子	
グローバル・マーケティング特論A	講義	2	○		准教授	李 炅 泰	
グローバル・マーケティング特論B	講義	2		○	准教授	李 炅 泰	
グローバル戦略特論A	講義	2	○		非常勤講師	今井雅和	
グローバル戦略特論B	講義	2	○		非常勤講師	今井雅和	
グローバル・ファイナンス特論A	講義	2	○		准教授	川崎健太郎	
グローバル・ファイナンス特論B	講義	2		○	准教授	川崎健太郎	
情報管理特論A	講義	2	○		教授	野中誠	
情報管理特論B	講義	2		○	教授	野中誠	
経営学特論A	講義	2	○		教授(兼任)	西澤昭夫	
経営学特論B	講義	2	○		教授(兼任)	西澤昭夫	
経営財務特論A	講義	2					本年度休講
経営財務特論B	講義	2					本年度休講
システム論特論A	講義	2	○		教授(兼任)	旭 貴 朗	
システム論特論B	講義	2		○	教授(兼任)	旭 貴 朗	
マーケティング演習A	演習	2	○		教授	小川純生	マーケティング研究指導Aと共通
マーケティング演習B	演習	2		○	教授	小川純生	マーケティング研究指導Bと共通
流通演習A	演習	2	○		教授	住谷宏	流通研究指導Aと共通
流通演習B	演習	2		○	教授	住谷宏	流通研究指導Bと共通
流通経営論演習A	演習	2	○		教授	菊池宏之	流通経営論研究指導Aと共通
流通経営論演習B	演習	2		○	教授	菊池宏之	流通経営論研究指導Bと共通
広告演習A	演習	2					本年度休講
広告演習B	演習	2					本年度休講
ブランド戦略演習A	演習	2	○		教授	塚田朋子	ブランド戦略研究指導Aと共通
ブランド戦略演習B	演習	2		○	教授	塚田朋子	ブランド戦略研究指導Bと共通

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	春	秋	職名	担当教員	備考
サービス・マーケティング演習A	演習	2	○		教授	長島 広太	サービス・マーケティング研究指導Aと共通
サービス・マーケティング演習B	演習	2		○	教授	長島 広太	サービス・マーケティング研究指導Bと共通
マーケティング・リサーチ演習A	演習	2	○		教授	峰尾 美也子	マーケティング・リサーチ研究指導Aと共通
マーケティング・リサーチ演習B	演習	2		○	教授	峰尾 美也子	マーケティング・リサーチ研究指導Bと共通
グローバル戦略演習A	演習	2					本年度休講
グローバル戦略演習B	演習	2					本年度休講
グローバル・マーケティング演習A	演習	2					本年度休講
グローバル・マーケティング演習B	演習	2					本年度休講
グローバル・ファイナンス演習A	演習	2	○		准教授	川崎 健太郎	グローバル・ファイナンス論研究指導Aと共通
グローバル・ファイナンス演習B	演習	2		○	准教授	川崎 健太郎	グローバル・ファイナンス論研究指導Bと共通
マーケティング研究指導A			○		教授	小川 純生	
マーケティング研究指導B				○	教授	小川 純生	
流通研究指導A			○		教授	住谷 宏	
流通研究指導B				○	教授	住谷 宏	
流通経営論研究指導A			○		教授	菊池 宏之	
流通経営論研究指導B				○	教授	菊池 宏之	
広告研究指導A							本年度休講
広告研究指導B							本年度休講
ブランド戦略研究指導A			○		教授	塚田 朋子	
ブランド戦略研究指導B				○	教授	塚田 朋子	
サービス・マーケティング研究指導A			○		教授	長島 広太	
サービス・マーケティング研究指導B				○	教授	長島 広太	
マーケティング・リサーチ研究指導A			○		教授	峰尾 美也子	
マーケティング・リサーチ研究指導B				○	教授	峰尾 美也子	
グローバル戦略研究指導A							本年度休講
グローバル戦略研究指導B							本年度休講
グローバル・ファイナンス論研究指導A			○		准教授	川崎 健太郎	
グローバル・ファイナンス論研究指導B				○	准教授	川崎 健太郎	

マーケ
ティング

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。研究指導は、セメスタ毎に2科目〔主指導教授1名・副指導教授1名〕を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された演習において行う）。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタに必ず履修すること。
- 主指導教授および副指導教授が担当する、研究指導と共通して開講される「演習」は、在学中16単位まで履修・単位修得することができ、12単位まで修了要件とすることができる。主指導教授8単位まで、副指導教授4単位までが修了要件となる。
1セメスタに履修・単位修得することができる研究指導と共通して開講される「演習」は、主指導教授2単位、副指導教授2単位までである。
- 主および副指導教授が担当する「講義」は、同一科目を2回以上履修・単位修得することができるが、修了単位となるのは最初に履修・単位修得した1回分のみである。
- 上記4.5.以外の「演習」または「講義」科目は、在学中1回のみ履修・単位修得（2単位）することができる（よって、同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない）。
- 修了要件必要単位数30単位のうち、20単位以上は本専攻から履修・単位修得すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 本研究科以外の学生は、「研究指導」と共通で開講されている「演習」を履修することはできない。
- 修士論文の作成については pp. 135～137を参照すること。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	春	秋	職名	担当教員	備考
マーケティング特殊研究A	講義	2	○		教授	小川純生	マーケティング研究指導Aと共通
マーケティング特殊研究B	講義	2		○	教授	小川純生	マーケティング研究指導Bと共通
流通特殊研究A	講義	2	○		教授	住谷宏	流通研究指導Aと共通
流通特殊研究B	講義	2		○	教授	住谷宏	流通研究指導Bと共通
広告特殊研究A	講義	2					本年度休講
広告特殊研究B	講義	2					本年度休講
ブランド戦略論特殊研究A	講義	2	○		教授	塚田朋子	ブランド戦略論研究指導Aと共通
ブランド戦略論特殊研究B	講義	2		○	教授	塚田朋子	ブランド戦略論研究指導Bと共通
サービス・マーケティング特殊研究A	講義	2	○		教授	長島広太	サービス・マーケティング研究指導Aと共通
サービス・マーケティング特殊研究B	講義	2		○	教授	長島広太	サービス・マーケティング研究指導Bと共通
流通経営論特殊研究A	講義	2	○		教授	菊池宏之	流通経営論研究指導Aと共通
流通経営論特殊研究B	講義	2		○	教授	菊池宏之	流通経営論研究指導Bと共通
リレーションシップ・マーケティング特殊研究A	講義	2	○		准教授	長島直樹	
リレーションシップ・マーケティング特殊研究B	講義	2		○	准教授	長島直樹	
グローバル・マーケティング特殊研究A	講義	2	○		准教授	李炘泰	
グローバル・マーケティング特殊研究B	講義	2		○	准教授	李炘泰	
マーケティング・リサーチ特殊研究A	講義	2	○		教授	峰尾美也子	マーケティング・リサーチ研究指導Aと共通
マーケティング・リサーチ特殊研究B	講義	2		○	教授	峰尾美也子	マーケティング・リサーチ研究指導Bと共通
グローバル・ファイナンス論特殊研究A	講義	2	○		准教授	川崎健太郎	グローバル・ファイナンス論研究指導Aと共通
グローバル・ファイナンス論特殊研究B	講義	2		○	准教授	川崎健太郎	グローバル・ファイナンス論研究指導Bと共通
グローバル戦略論特殊研究A	講義	2					本年度休講
グローバル戦略論特殊研究B	講義	2					本年度休講
情報管理論特殊研究A	講義	2	○		教授	野中誠	
情報管理論特殊研究B	講義	2		○	教授	野中誠	
マーケティング研究指導A			○		教授	小川純生	
マーケティング研究指導B				○	教授	小川純生	
流通研究指導A			○		教授	住谷宏	
流通研究指導B				○	教授	住谷宏	
広告研究指導A							本年度休講
広告研究指導B							本年度休講
ブランド戦略論研究指導A			○		教授	塚田朋子	
ブランド戦略論研究指導B				○	教授	塚田朋子	
サービス・マーケティング研究指導A			○		教授	長島広太	
サービス・マーケティング研究指導B				○	教授	長島広太	
マーケティング・リサーチ研究指導A			○		教授	峰尾美也子	
マーケティング・リサーチ研究指導B				○	教授	峰尾美也子	
流通経営論研究指導A			○		教授	菊池宏之	
流通経営論研究指導B				○	教授	菊池宏之	
グローバル・ファイナンス論研究指導A			○	○	准教授	川崎健太郎	
グローバル・ファイナンス論研究指導B			○	○	准教授	川崎健太郎	

マーケ
ティング

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）。

修士論文作成について

1998年10月作成
2009年3月修正
経営学研究科

1. 基本姿勢

本学大学院在学中、下記事項を常時念頭において研究活動をすすめてほしい。

- (1) 修士論文は学位（修士）請求の学術論文であること。
- (2) 質的に「世界標準」にかなう、を目指すこと。

2. 論文執筆、研究指導について

- (1) 研究指導教員とは常時、密接なコミュニケーションを保つこと。
- (2) 研究指導教員以外の教員にも、コメントや助言を求める努力を積極的に行うこと。

3. 研究指導教員の指導に納得できないときのヒント

- (1) 他の研究指導教員に相談する。
- (2) 講義などで自分を良く知っている教員に相談する。
- (3) 専攻長もしくは研究科長に相談する。
- (4) 納得できない理由について、冷静に、かつ学術的視点から吟味する。
- (5) 「研究指導の原則」（正当な理由なくして、特定の学説、テーマ、研究方法、結論を強制されることはない）を確認する。

4. 執筆にあたり、留意すべきこと

- (1) 論文を読むのはだれか、を考える。
 - ①主査、副査の教員
 - ②口述試験担当の教員
→たとえば、理論の初歩的事項の説明・記述は不要
 - ③後輩の大学院生
 - ④将来、就職試験のときの担当者、など
- (2) 内容が正確に伝わるように書く。
「国語」でいうところの「名文」とは必ずしも同じでないことに注意
- (3) 論文の形式について一般的約束に準じて書く。
→7. 論文執筆要項 参照

5. 分量等

- (1) 修士論文の分量は、40,000～80,000字相当とする。
- (2) A4版、ワープロ使用を標準とする。
- (3) 横書き、1ページあたり35字×30行、文字サイズ（本文）10.5～12.0ポイントを標準とする。
- (4) 論文は製本する。表紙、背表紙に論文題目、修了年度、氏名を記入する。
(P.35「4.学位論文（4）修士学位論文・特定課題研究論文作成時の注意」参照)

6. 論文、要約の提出部数等

- (1) 論文は製本済みのものを2部提出。
- (2) 論文要旨(1,000字以内)は所定の部数を提出。
- (3) 論文要約(4,000字以内)は4部提出。
- (4) 論文、論文要約の提出期日は当該年度の指定による。

7. 論文執筆要項

論文の形式は国語で学ぶ作文や小説の形式とは異なっている。『経営論集』等を見て、論文の形式についての一般的約束を理解してほしい。

- (1) 句読点はコンマ(,)、ピリオド(.)、あるいは読点(、)句点(。)を統一して用いる。
- (2) 文中の短い引用は「」でくくる。
- (3) 文中の長い引用は、行を改めて本文より2字下げて記す。
- (4) 参照箇所や引用は、注番号を付ける等をして、出所を明示する。
・注番号は通し番号とし、上付き4分の1角とする。
- (5) 元号(昭和、天明等)や西暦以外の紀年法によるときは、必要に応じて()内に西暦年をそろえる。
- (6) 外国人名はカタカナで表示し、初出箇所では()内に原語を示す。
例 フィリップ・コトラー (Philip Kotler)
- (7) 略号・略名も初出箇所では()内に正式名称を示す。ただし、一般的に使われているもの(たとえば、EU、ASEAN、等)は省いて良い。
例 AI (Artificial Intelligence)
- (8) 単行本や雑誌の書名の表記は次の方式による。
和書は『 』(二重カギカッコ)でくくり、洋書はイタリック(斜体文字)で書く。
例 『マーケティング』
例 *Principles of Marketing*
- (9) 論文名は、和書は「」で、洋書は“ ”でくくる。
例 「定性的推論」
例 “Improving Sales Force Productivity”
- (10) 和書の発行年は元号表示でも良いが、西暦表示のほうが一般化しつつある。
- (11) ページの表記は、p.xx または pp.xx-xx とする。
例 38頁なら p.38、38頁から43頁なら pp.38-43
ただし、和書の場合は、〇〇頁とか〇〇-〇〇頁としてもよい。なお、漢字の「頁」はパソコンでは「ページ」又は「ケツ」の読みで登録されている。
- (12) 初めて出てきた単行本の場合は、**著者姓名『書名』発行所、発行年、頁、そして最後にピリオド**、の順で表示する。
なお、洋書の場合は、カンマ(,)の後にスペースを1つ入れる。
例 田村正紀『日本型流通システム』千倉書房、昭和61年、224頁。
例 P. Kotler, *Principles of Marketing*, Prentice-Hall, 1980, p. 58.
- (13) 翻訳書の場合は翻訳書の後ろに括弧で原著を示すか、次の行に原著を示す。しかし、翻訳書だけを利用して原著にあたっていない場合は、翻訳書だけを表示する。
例 村田昭治監訳、P.コトラー『マーケティング原理』ダイヤモンド社、1983年。(P. Kotler, *Principles of Marketing*, Prentice-Hall, 1980.)

- (14) 初めて出てきた論文の場合は、執筆者姓名「論文名」『雑誌名』巻号数、刊行年、頁、そして最後にピリオドの順で表記する。なお同名の雑誌がある場合は発行所を明示する。
- 例 西田豊明「定性的推論」『人工知能学会誌』Vol. 2、No. 1、1987、30-43頁。
- 例 涌田宏昭「システムの維持とシステム監査」『経営論集』第28号、東洋大学経営学部、1987年、87-106頁。
- 例 宮本匠幸「文化管理論の最近の傾向と課題」『企業会計』第91巻第2号、1988年、13-18頁。
- 例 Theodore Levit, "Marketing Myopia." *Harvard Business Review*. No.38. 1960. pp. 24-47.
- 注) 論文名の最後は [、] ではなく [、"] の順番が一般的である。
- (15) 共著や編著の文献の中に収録されている論文の引用は上記に似ているが、若干形式は異なる。
- 例 宇野政雄「ソーシャル・マーケティング」田内幸一・村田昭治編『現代マーケティングの基礎理論』同文館、1981年、60-90頁。
- 例 L. V. Stern and P. J. Kaufman. "Electronic Data Interchange in Selected Consumer Goods Industries," in R. D. Buzzel, ed., *Marketing in an Electronic Age*, Harvard Business School, 1985. pp. 52-73.
- 注) in は「内に含まれている」という意味で付ける。
- ed. は editor の略号であり、編書が複数の場合は eds. とする。
- (16) 新聞記事は単行本の中の論文や章・節と同じ扱いになる。
- 例 「今年度はヒット商品番付」『日経流通新聞』1996年12月20日。
- (17) 続けて同一の文献や論文を引用する場合は簡略表示にする。
- 和書は、同上（同書、同上書、同訳書、同上訳書、同上論文、も可）。
- 洋書は、ibid. または *Ibid.*（ラテン語の *Ibidem*（同じ場所に）の略）と表記する。
- 例 同上、254頁。
- 例 *Ibid.*, p.254とか *Ibid.*, pp. 56-58.
- (18) 間に他の引用文献があつて、隔てられている場合でも簡略表示する。
- まず姓を書き（名は不要）、和書は、前掲書、前掲論文、洋書は、*op.cit.* または *op. cit.*（ラテン語の *opere citato*（引用した作品の中に）の略）と表記する。
- 例 田村、前掲書、〇〇頁。
- 例 村田、前掲訳書、p.xx.
- 例 Levit. *op. cit.*, p. 29.

ビジネス・会計ファイナンス専攻 特定課題研究論文について

本専攻では、修士学位論文または特定課題研究論文の提出を認めています。特定課題研究論文とは、特定の課題について、実践的に調査・研究した論文をいう。

1. 特定課題研究論文は16,000字以上で作成すること。
2. 特定課題研究論文の体裁は修士学位論文に準ずる。
3. 提出時期等は、下表のとおりとなる。

題目届 提出締切日	中間発表会	論文提出
2015（平成27）年4月18日（土）	10月	修士学位論文提出時期に同じ
2015（平成27）年10月3日（土）	3月	